

# サイエンス ■ 字び

## 立体考差

科学部長

柴田文隆

あなたの携帯には、何人の電話番号が登録されているだろうか。相手の顔を思い浮かべることができて、これからも電話をかける関係だ、と考える人の数は、1000~2000人くらいだと言われる。

英国の人類学者R・ダンバーは、様々な共同体や軍隊、企業、宗教組織などの集団の大きさを調べた。その結果、目的を共有し、心を通わせながら一体とな

って活動するユニット(軍隊の中隊、企業の機能単位、1教会の信徒数など)の規模は、ほとんど1000~2000人の範囲で、その平均は150人だった。軍隊は、互いに命を預け合う究極の運命共同体だが、中核をなす行動単位である中隊の規模

## 「150人」がちょうどいい

直接的、個人的つながりが不可欠で、その最適規模が「150人」なのではないかと考えた。この数字には、どんな意味が隠れているのだろうか。

人間は相手の心の中を読み取り、人間関係を良好に築こうと心を砕く社会的動物だ。人間が3人いる場合の関係は、AとB、AとC、BとCの三つと単純だが、30人の集団では435の多角関係になる。規模は10倍だが、関係は150倍になる。

さらに驚くべきところにも顔を出す。今や66億まで増えた人類だが、直接の祖先となった集団は約150人だったことが、最新の遺伝子解析でわかったのだ。約7万年前にアフリカを出た小さな集団は、未知の環境に適応し、世界の隅々まで勢力を広げていった。

この祖先集団が数十人の小ささだったら、厳しい自然というミキサーにすりつぶされ、消滅していただろう。2000人より多かったら、派閥抗争が起こって分裂し、共倒れで全滅していたかもしれない。

私たちの祖先は、絶妙のスタートを切ったのだった。(第1、第3日曜日に掲載)

2009 2/15 読売